

白浜町 京大水族館



京都大学水族館で初めて開かれた解説ツアー
(10日、白浜町臨海で)

初の解説ツアー大成功

「春休みにも計画したい」

白浜町の京都大学瀬戸臨海実験所の同大学水族館は、昨年12月25日から10日まで、冬休み特別イベントとして「水族館解説ツアー」を実施。初めての試みだったが、計14日間で延べ487人が訪れ、関係者も「予想以上の人気」と話していた。

同水族館は、以前から磯の観察会などのイベントを行ってきたが、天候に左右されないイベント

として解説ツアーを計画。水槽めぐりのほか、普段見られないバックヤードをのぞく裏側めぐりもあった。それぞれ午前と午後の2回実施した。最も参加者が多かったのは1月9日の64人。次いで12月31日の59人、27、28日の53人だった。観光地白浜温泉とあって、県外からの参加者が全体の7割(338人)を占めた。

最終日となった10日午後の水槽めぐりには、3組6人が参加した。講師は同大学の久保田信・助教授が務め、専門の刺胞動物を中心に説明した。わずか30分だったが、那智勝浦町から来たカップルは「普段聞けない話だったのが楽しかった」と満足そうに水槽をながめていた。

同水族館は「平均で1日35人ほどが参加した。今後も春や夏の休みなどにも計画したい」と話していた。